

はじめに

広島県尾道市と今治市を結ぶ西瀬戸自動車道（以下、しまなみ海道）には、本州四国連絡道路の3ルートで唯一、自転車歩行者道が併設されている。最近のサイクリングブームも相まって、しまなみ海道には多くのサイクリング客が訪れている。IRCでは、その実態を把握するため、サイクリング客に対してアンケートを実施した。アンケートの概要、回答者の属性は以下のとおりである。

アンケートの概要	
1. 調査対象	しまなみ海道（来島海峡大橋）を訪れたサイクリング客
2. 調査日	2011年8月20日（土）、21日（日）
3. 調査方法	今治市サイクリングターミナル「サンライズ系山」にて調査員による対面調査
4. 回答者数	130名

回答者の属性	
1. 性別	男性 64.6%、女性 33.8%、無回答 1.5%
2. 年齢	19歳以下 17.7%、20歳代 16.2%、30歳代 25.4%、40歳代 17.7%、50歳代 15.4%、60歳以上 4.6%、無回答 3.1%

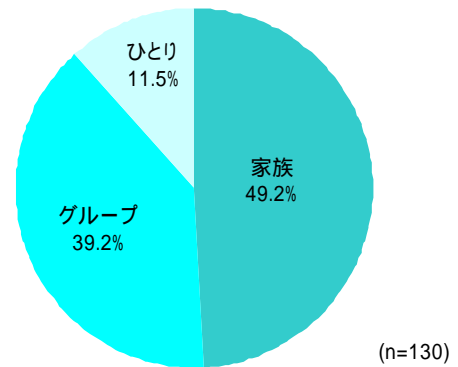
注）割合は、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならないことがある（以下同じ）。

1. サイクリング客の実態

（1）誰と来たか

サイクリングに誰と来たかを尋ねたところ、「家族」が49.2%で約半数を占めた。次いで「グループ」（39.2%）「ひとり」（11.5%）となった（図表-1）。調査日が夏休み期間中だったこともあり、親子や学校・職場の仲間同士などでサイクリングを楽しんでいる人たちが多かった。

図表 1 誰と来たか

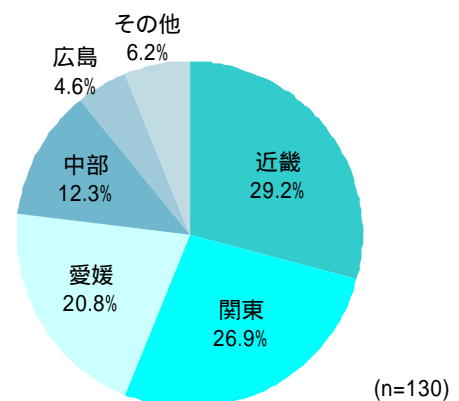


（2）居住地および来訪頻度

サイクリング客を居住地別に見ると、「近畿」（29.2%）「関東」（26.9%）「中部」（12.3%）などとなり、遠方からの来訪が多かった。「愛媛」は20.8%、「広島」は4.6%で、地元の「愛媛」と「広島」以外からのサイクリング客が7割以上を占めた。また、「愛媛」「広島」以外の中四国他県からのサイクリング客は、1割にも満たなかった。

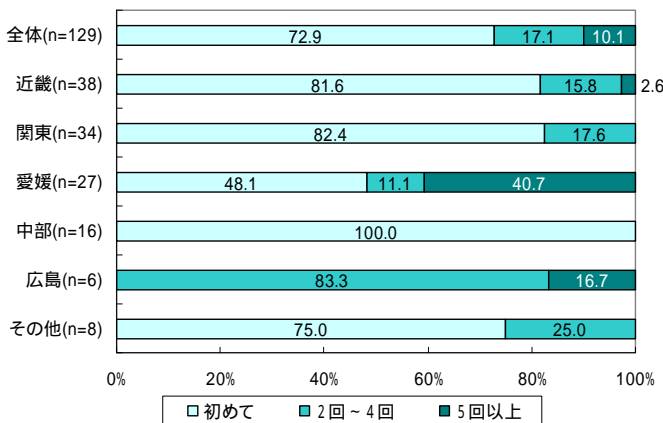
なお、今治市内など近隣在住のサイクリング客は、レンタサイクルターミナルに立ち寄らずに橋を渡る場合もあり、実際には「愛媛」の割合が、本調査結果よりも高いと思われる（図表-2）。

図表 2 サイクリング客の居住地



しまなみ海道でのサイクリングの頻度について見ると、全体では「初めて」が72.9%、「2回～4回」「5回以上」のリピーターが27.1%となった。「愛媛」「広島」は半数以上がリピーターだったほか、「近畿」や「関東」からも2割前後がリピーターであった。「愛媛」在住者の中には、「月に一度は尾道まで往復している」「毎日大島まで往復している」といった熱心なサイクリング愛好者もいた。

図表 3 居住地別のしまなみ海道サイクリングの頻度

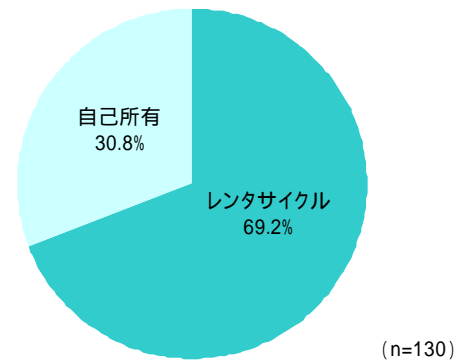


(3) 使用している自転車

サイクリングに使用している自転車(所有形態)は、「レンタサイクル」69.2%に対して、「自己所有」30.8%となった(図表-4)。

しまなみ海道沿線には、尾道・今治間に島しょ部を含め、多くのレンタサイクルターミナルがあり、シティサイクルから本格的なスポーツ車、電動アシスト自転車など様々な車種を比較的安価に利用できる。こうした利用し易さもあって、レンタサイクル利用者の割合が高くなっているものと思われる。

図表 4 使用している自転車

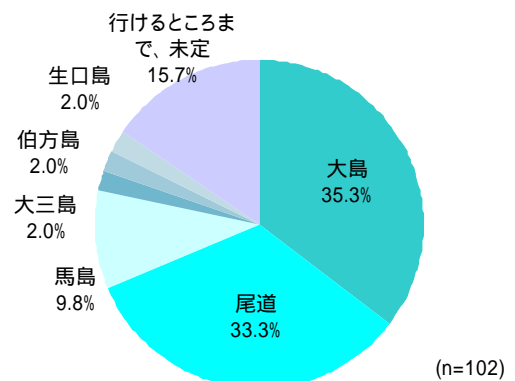


(4) 行き先

今治側から出発したサイクリング客に行き先を尋ねたところ、「大島」(35.3%)「尾道」(33.3%)、来島海峡大橋中間にある「馬島」(9.8%)の上位3地点で8割近くを占めた。そのほか、「時間や体力を見ながら、行けるところまで行きたい」というサイクリング客も1割以上いた(図表-5)。

なお、尾道から来たサイクリング客も合わせ、今治・尾道間を往復する長距離サイクリング客も全体の1割近くに上った。

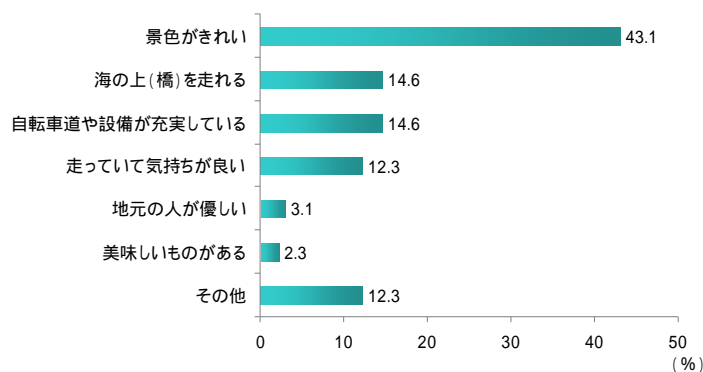
図表 5 今治出発のサイクリング客の行き先



2. しまなみ海道サイクリングの魅力・不満
 しまなみ海道サイクリングの魅力（良いところ）、不満（改善してもらいたい点）について尋ねた。魅力では、多島美など「景色がきれい」（43.1%）「海の上（橋）を走れる」（14.6%）「自転車道や設備が充実している」（14.6%）などの回答が多かった（図表 6）。

また、回答者全員が、しまなみ海道のサイクリングに「また来たい」と答えた。

図表 6 しまなみ海道サイクリングの魅力（複数回答）



一方、不満や改善してもらいたい点については、「坂道が多い」「路面の段差・凹凸」「案内標識がわかりにくい・少ない」といった意見や、レンタサイクル利用に関して「ロードバイクの台数が少ない」「予約していた種類の自転車がなかった」などの声が聞かれた。

案内標識に関しては、調査中、何度もサイクリング客に道を尋ねられたほか、「途中で道に迷

った」といった声も聞かれた。また、「広島県内の車道にある『ブルーライン』（推奨ルートを示す路面標示）を愛媛県内にも整備してほしい」という具体的な改善内容を指摘するサイクリング客もいた。

今後は、こうしたサイクリング客から挙げられた意見を踏まえ、愛媛・広島両県が連携して瀬戸内海の多島美を守り、安全、かつ快適にサイクリングを楽しめるような環境整備が求められる。

おわりに

今回の調査では、全国各地から幅広い年代のサイクリング客がしまなみ海道を訪れ、非常に高い評価を受けていることがわかった。また、調査の一環で観光関係者やサイクリング愛好者らに行ったヒアリングでも「国内でしまなみ海道以上のサイクリングコースはない」「しまなみ海道はサイクリストのメッカ」といった意見も聞くことができた。

「観光立国の実現」を目指し、国を挙げた観光振興策が推進されているが、地域間競争は激化している。こうした中、しまなみ海道にしかない自転車歩行者道という「インフラ」と優れた「海と島と橋の織り成す景観」を活かし、魅力ある観光地として発展し続けることを期待したい。

（新藤 博之）

しまなみ海道サイクリングの不満・改善要望
 （主な意見）

- ・ 坂道が多い、橋の上り下りが大変
- ・ 路面に段差や凹凸がある
- ・ 案内標識がわかりにくい・少ない
- ・ レンタサイクルの種類が少ない、整備状態が良くない